

第8次青森県保健医療計画(心血管疾患対策)に係る進捗状況について

資料3

	番号	項目	現状値の出典	策定時 (時点)	現状値 (時点)	目標値	進捗状況	令和6年度前期(R6.4-9) の主な取組及び成果	課題	今後の取組の方向性 (取組方法の修正等)
心筋梗塞等の心血管疾患の予防や正しい知識、危険因子の改善に関する普及啓発										
	A1	県民に対する講演会やSNS、メディア等を活用した普及啓発の実施数（喫煙・飲酒・食塩摂取）	がん・生活習慣病対策課調べ	—	年度内達成 見込み	各4 回以上	年度内達成 見込み	・県広報誌、ラジオ、SNSを活用し県民への普及啓発を実施。 ・青森県健康増進推進会議において、飲酒に関する講義を実施。 ・脳卒中・心臓病等総合支援センターにおいて、食塩摂取等の啓発活動及び県民公開講座を年度内実施計画済み。	・普及啓発の機会確保を継続し、効果的に県民のヘルスリテラシーを向上させる必要がある。	・広報媒体や方法を検討し、効果的な普及啓発の継続
	A2	高血圧症有病者のうち、服薬していない者の割合	市町村国民健康保険特定健康診査データ	23.7% (R3時点)	24.0% (R4時点)	減少	悪化	・県民に対する普及啓発。 ・特定健康診査受診勧奨、特定保健指導における指導、管理（市町村等関係機関） ・保健活動研修会の企画（青森県保険者協議会）	・効果的な特定保健指導の実施に向けた従事者のさらなるスキルアップが必要 ・医療従事者、県民に対し、臨床インナーシャ※に関する普及啓発が必要	・健診受診後の精密検査未受診者に対する受診勧奨の継続 ・効果的な保健指導を実施するための研修会の実施 ・医療従事者、県民に対し臨床インナーシャに関する普及啓発
	A3	脂質異常症有病者のうち、服薬していない者の割合		63.6% (R3時点)	50.2% (R4時点)	減少	改善 (目標達成)			
	A4	糖尿病有病者のうち、服薬していない者の割合		33.0% (R3時点)	32.1% (R4時点)	減少	改善 (目標達成)			
	A5	特定検診受診者のうちメタボリックシンドローム該当者及び予備群の割合	厚生労働省「特定健康診査・特定保健指導の実施状況に関するデータ」	30.8% (R3時点)	31.1% (R4時点)	20.0 %	悪化	・特定健康診査受診勧奨、特定保健指導における指導、管理（市町村等関係機関） ・保健活動研修会の企画（青森県保険者協議会）	・効果的な特定保健指導の実施に向けた従事者のさらなるスキルアップが必要	・健診未受診者に対する受診勧奨の継続 ・喫煙、飲酒、運動、食事等の生活習慣に係る効果的な保健指導を実践するための研修会の実施
特定健診の受診勧奨、特定保健指導の実施										
	A6	特定健診実施率	厚生労働省「特定健康診査・特定保健指導の実施状況に関するデータ」	51.4% (R3時点)	52.2% (R4時点)	70.0 %	改善 (目標未達成)	・特定健康診査受診勧奨、特定保健指導における指導、管理（市町村等関係機関） ・保健活動研修会の企画（青森県保険者協議会）	・健診未受診者に対する受診勧奨を強化することが必要 ・効果的な特定保健指導の実施に向けた従事者のさらなるスキルアップが必要	・健診未受診者に対する受診勧奨の継続 ・多量飲酒対策に関するモデル事業を実施し、減酒に向けた効果的な取り組みや指導方法を検証 ・喫煙、飲酒、運動、食事等の生活習慣に係る効果的な保健指導を実践するための研修会の実施
	A7	特定保健指導実施率	厚生労働省「特定健康診査・特定保健指導の実施状況に関するデータ」	25.8% (R3時点)	29.0% (R4時点)	45.0 %	改善 (目標未達成)			

※臨床インナーシャ：インナーシャは「惰性」と訳され、「高血圧であるにもかかわらず、治療を開始しない、またはガイドラインで示されている降圧目標値よりも高いにもかかわらず、治療を強化せずそのまま様子を見る」治療インナーシャと、「難治性・治療抵抗性高血圧の原因を精査しない」診断インナーシャが含まれる。臨床インナーシャには医療提供側、患者側、医療制度の問題など多岐にわたる因子が関与している（高血圧治療ガイドライン2019（日本高血圧学会発行）より）。

第8次青森県保健医療計画(心血管疾患対策)に係る進捗状況について

資料3

番号	項目	現状値の出典	策定時 (時点)	現状値 (時点)	目標値	進捗状況	令和6年度前期（R6.4-9） の主な取組及び成果	課題	今後の取組の方向性 (取組方法の修正等)
急性心筋梗塞等の症状、発症時の対処法の普及啓発									
A8	県民に対する講演会やSNS、メディア等を活用した普及啓発の実施数	がん・生活習慣病対策課調べ	—	年度内達成見込み	12回以上	年度内達成見込み	・県広報誌、ラジオ、SNSを活用し県民への普及啓発を実施。 ・一過性脳虚血発作についての動画、ポスターを作成。県内全医療機関等を対象にポスターを配布。	・普及啓発の機会確保を継続し、効果的に県民のヘルスリテラシーを向上させる必要がある。	・広報媒体や方法を検討し、効果的な普及啓発を継続
A9	心肺機能停止傷病者全搬送人員のうち、一般市民により除細動が実施された割合	救急・救助の現況	0.7% (R3時点)	0.7% (R5時点)	1.3%	変化なし (目標未達成)	・急性期医療機関における現状値把握調査の実施 ・消防等における応急手当に関する普及啓発	・急性心筋梗塞等の前兆及び症状、発症時の対処法並びに早期受診の重要性について、県民への普及啓発が必要 ・応急手当に関する県民への普及啓発が必要	・速やかな救急要請等により、速やかに適切な医療機関を受診できるよう、急性心筋梗塞等の症状・対処方法、早期受診に関する県民への普及啓発
24時間心筋梗塞等の心血管疾患の急性期医療の専門的治療が実施できる体制の整備									
A10	急性心筋梗塞にかかる治療の実施状況（実施病院数）	青森県医療機能調査	津軽 3 八戸 2 青森 4 西北五 2 上十三 2 下北 1 (R5時点)	—	二次保健医療圏毎に1施設以上を維持	—	—	—	・引き続き、各医療機関において体制の整備をした上で心血管疾患の急性期医療の専門的治療を実施する。
心血管疾患リハビリテーションが実施できる体制の整備									
A11	心大血管疾患リハビリテーション料（Ⅰ）届出医療機関数（人口10万対）	地方厚生局届出受理（人口10万対）	0.9 (R5時点)	1.1 (R6.7.1)	1.2	改善 (目標未達成)	<県医療業務課> ・在宅医療に関する医療従事者等に対する研修の実施 ・多職種協働による在宅医療実施モデルの構築 ・在宅医療に取り組む医療機関及び訪問看護ステーションに対する設備整備支援 <県高齢福祉保険課> ・医療・介護連携推進事業の実施	・心血管疾患患者に対するリハビリテーションは、入院中のみならず、退院後の患者教育を含む疾病管理プログラムとしての心血管疾患リハビリテーションが継続的に行われる必要がある。	・現在の取組の継続
A12	心大血管疾患リハビリテーション料（Ⅱ）届出医療機関数（人口10万対）	地方厚生局届出受理（人口10万対）	0.1 (R5時点)	0.1 (R6.7.1)	0.1	変化なし (目標達成)			

第8次青森県保健医療計画(心血管疾患対策)に係る進捗状況について

資料3

	番号	項目	現状値の出典	策定時 (時点)	現状値 (時点)	目標値	進捗状況	令和6年度前期（R6.4-9） の主な取組及び成果	課題	今後の取組の方向性 (取組方法の修正等)
心筋梗塞等の心血管疾患患者の減少										
	B1	虚血性心疾患全体入院（SCR）	内閣府「医療提供状況の地域差」	83.0 (R3時点)	—	100.0 以下	—			
	B2	虚血性心疾患全体（外来） （SCR）	内閣府「医療提供状況の地域差」	88.6 (R3時点)	—	100.0 以下	—			
心筋梗塞等の心血管疾患の疑われる患者が、できるだけ早期に疾患に応じた専門的診療が可能な医療機関に到着し、治療を受けることができる体制										
	B3	急性心筋梗塞（ST上昇型心筋梗塞）患者の発症から来院までの時間（中央値）	がん・生活習慣病対策課調べ	166分 (R4時点)	166分 (R5時点)	短縮	変化なし (目標未達成)			
	B4	PCIを施行された急性心筋梗塞患者のうち、90分以内の冠動脈再開達成率（%）	厚生労働省NDB	60.1% (R2時点)	68.9% (R3時点) ※全国値 58.0%	全国値以上 を維持	改善 (目標達成)			
	B5	大動脈疾患患者に対する手術件数（人口10万対）	厚生労働省NDB	6.5 (R2時点)	9.8 (R3時点)	13.3	改善 (目標未達成)			
発症後早期に専門てきな治療を開始し、心血管疾患リハビリテーションや再発予防の定期的専門的検査を受けることができる体制										
	B6	入院心血管疾患リハビリテーションの実施件数（SCR）	内閣府「医療提供状況の地域差」	45.8 (R3時点)	—	100.0	—			
	B7	外来心血管疾患リハビリテーションの実施件数（SCR）	内閣府「医療提供状況の地域差」	29.7 (R3時点)	—	100.0	—			

第8次青森県保健医療計画(心血管疾患対策)に係る進捗状況について

資料3

	番号	項目	現状値の出典	策定時 (時点)	現状値 (時点)	目標値	進捗状況	令和6年度前期（R6.4-9） の主な取組及び成果	課題	今後の取組の方向性 (取組方法の修正等)
心血管疾患による死亡者の減少										
	C1	心血管疾患の年齢調整死亡率（男性）	人口動態統計特殊報告	211.3 (R2時点)	—	165.5	—			
	C2	心血管疾患の年齢調整死亡率（女性）	人口動態統計特殊報告	228.2 (R2時点)	—	167.7	—			
	C3	虚血性心疾患の年齢調整死亡率（男性）	人口動態統計特殊報告	57.0 (R2時点)	—	減少	—			
	C4	虚血性心疾患の年齢調整死亡率（女性）	人口動態統計特殊報告	20.8 (R2時点)	—	減少	—			
	C5	心不全の年齢調整死亡率（男性）	人口動態統計特殊報告	90.1 (R2時点)	—	69.0	—			
	C6	心不全の年齢調整死亡率（女性）	人口動態統計特殊報告	63.4 (R2時点)	—	48.9	—			
	C7	大動脈疾患の年齢調整死亡率（男性）	人口動態統計特殊報告	20.2 (R2時点)	—	17.3	—			
	C8	大動脈疾患の年齢調整死亡率（女性）	人口動態統計特殊報告	12.8 (R2時点)	—	10.5	—			
日常生活における心血管疾患患者の質の高い生活										
	C9	健康寿命（男性）	厚生労働科学研究「健康日本21（第二次）の総合的評価と次期健康づくり運動に向けた研究」	71.73 (R元時点)	—	74.73	—			
	C10	健康寿命（女性）	厚生労働科学研究「健康日本21（第二次）の総合的評価と次期健康づくり運動に向けた研究」	76.05 (R元時点)	—	79.05	—			
	C11	在宅等生活の場に復帰した虚血性疾患患者の割合	厚生労働省患者調査	89.4% (R2時点)	—	増加	—			
	C12	在宅等生活の場に復帰した大動脈疾患患者の割合	厚生労働省患者調査	3.8% (R2時点)	—	増加	—			